

兵庫県立柏原高等学校

ボランティア部（インターアクトクラブ）

高校生ボランティア・アワード2018

「活動の目標」

- 1 丹波市・柏原町をバリアフリー観光地への第一歩、「車いす観光マップ」の作成！！

柏原町内の観光スポットに車いすで訪れたために必要な情報を記載した「車いすマップ」を完成させます。

- 2 外国人の住みやすい街作り活動！！

現在、丹波市人口は6万人のうち700人の外国人が住んでいます。少子高齢化に悩む丹波市において外国人の提供する労働力・税収は市を支える力になってきています。彼らが暮らしやすさを感じる丹波市にするために、料理教室やインターナショナルデイ活動、外国人向け防災紙芝居の実施などの活動に取り組んでいます。



「我が部活の心意気」

- 1 エンジョイ・ボランティア！！

「義務感でボランティア活動をしな。ボランティア活動を楽しもう。」

- 2 笑顔で勝負！！

「君たち（生徒たち）の笑顔は、地域の人々を幸せにします。自信を持って活動しよう。」

「活動目標達成のフローチャート化」

- 1 丹波市柏原町が車いす観光地としてブランドを確立が市の活性化へ

丹波の人の性格の穏やかさ

車いす・福祉観光地のコンセプトで売出す

SNSを活用して国内外へ発信

静かな小さな城下町柏原

国内における車いす観光地のブランド確立
外国からのインバウンド観光客を増やす

- 2 在住外国人の人材活用で外国人の移住増加へ

支援ではなく、外国人の潜在能力を開発していく

外国語観光ガイドの育成

丹波市の活性化へ

外国人の自己肯定感醸成

丹波市への移住外国人の増加

1「車いす観光地で内外観光客を誘致へ」

- 1) 丹波市民は、穏やかな人々で、この気質が観光資源となる。
- 2) 車いす使用者でも観光史跡へのアクセスがしやすい、静かで小さな城下町が柏原町。
- 3) このような特長を活かして「車いす観光地」のブランド化を図り、内外の観光客を呼び込む。

2「外国人が移住したい町へ」

- 1) 外国人の潜在能力を開発していく支援プログラムの実施。
- 2) 外国人観光客のための通訳ガイドの養成、英会話講師の養成。
- 3) 外国人の自己肯定感を町として、移住を促す。
- 4) 丹波市の人口減少を食い止め、税収も増加する。



活動団体プロフィール

- 兵庫県立柏原高等学校ボランティア部(インターアクトクラブ)
- 1 活動の信条
 - 1) 「エンジョイ・ボランティア」
 - 2) 「笑顔で勝負」
 - 2 部員数: 48名 (1年5名(女子3名・男子2名)、2年23名(全員女子)、3年20名(女子19名・男子1名))
* 男子部員がもっと増えてほしい！！
 - 3 主な活動内容
 - 1) 平日の活動(月曜日～金曜日)
 - ① 幼稚園児の預かり保育支援
 - ② 近隣地区の独居老人見守り隊
 - 2) 土日祝日の活動
 - ① 柏原町内観光地への車いすマップ作り
 - ② 防災教育の普及・防災紙芝居の実演(幼稚園児、外国人へ)
 - ③ 丹波地域(丹波市・篠山市)在住の外国人と料理教室